

たつのまち
議会
だより No.96

令和6年
11月臨時会
12月定例会開催



Center of Japan
36° 07' 00" N 138° 07' 00" E

日本のど真ん中
信州辰野町

定例会・臨時会報告	4
委員会レポート	7
一般質問	10
町民の声	16

特集

中学生議会2024開催
辰野高校生との意見交換

2



辰野町議会
ホームページ



辰野町議会
Facebook

8

2024年 ほたるの里 中学生議会

開催

10月31日（木）議会主催のほたるの里中学生議会が辰野町役場議場で開催されました。

辰野中学校から8名、両小野中学校から2名の中学生議員が登壇し質問しました。新しい音響設備や町民ホールへの生配信設備を使った初めての議会になりました。



質問順位 1番 外国人観光客の訪れやすさ・居住者の暮らしやすさを

ゆほらさやか 議員

問 ほたる童謡公園などの看板にピクトグラムを用いれば、外国人観光客や居住者にも分かりやすいのでは。

町長 蛍観賞や買い物を楽しんでもらえる案内看板などにピクトグラムの活用を検討したい。

課長 外国語表記やピクトグラムを使った看板の設置について検討していく。

感想 意見を多くの人に伝える貴重な経験ができた。提案が実現し、より良い町にできる機会になればうれしい。

質問順位 2番 辰野町の平和教育は

さかにしともな 議員

問 戦争体験の継承が課題。平和教育の場を小中学校や高校に取り入れる考えは。また、終戦記念日の黙とう以外の平和活動は。

教育長 各学校で平和教育が行われている。広島や長崎への研修は大切だが、県内の題材を使うことも大切。

町長 満蒙開拓の啓発事業や、町内の慰霊碑を広報たつので紹介するなどして、平和について考える機会を設けたい。

感想 緊張感が味わえて新鮮だった。平和について考え、自分から行動していきたい。

質問順位 3番 友好都市鋸南町との交流ツアーの開催で町の活性化を

おざわま お 議員

問 町主催の交流ツアーで町の魅力を知ってもらうことで、観光客や移住者を増やし活性化につなげ、鋸南町との友好を深めては。

町長 交流ツアーは、町を知ってもらう良い機会になる。

課長 民間事業者の訪問による交流はしている。調整は必要だが近い将来にツアーを実現できると思う。

感想 明るく楽しい町にしたいと思い質問し、貴重な体験ができた。町の取り組みを知る機会となった。

質問順位 4番 SNSをもっと活用し情報を発信してほしい

まるやま みさき 議員

問 町 SNS の更新頻度と情報量を充実させ、より早く詳細なイベント情報を積極的に発信してほしい。

町長 SNS は有効だが使用には注意が必要。町発信の情報は町主催事業に限定している。

課長 主に公式 LINE を使っている。複数ある配信方法の見直しを検討している。カレンダー方式でイベント情報を表示できる仕組みも検討していきたい。

感想 学生の視点で町を活性化したいと思った。自分の意見が発表でき満足な質問ができた。

質問順位 5番 町の魅力を発信するデジタルマップの設置で活気溢れる町に

なかむらゆいほ 議員

問 観光地や商店街などの情報を分野ごとにまとめ発信できるデジタルマップを設置して、町の魅力を発信し、活性化につなげては。

町長 来町者が情報を取得できるデジタルマップの構築に取り組んでいる。11月下旬から運用を始める。

課長 キーワード検索や多言語にも対応し、デジタルマップを使った位置情報の提供も実施する。地域の活性化につなげたい。

感想 課題を見つけ解決策を見出す過程は町と向き合う機会になった。活気あふれる町にしたい。

質問順位 6番 辰野町のゴミ対策に工夫を

さいとう みつき 議員

問 ごみゼロ運動にゲーム性を取り入れれば参加者が増えると思う。町のリサイクルボックスの周知は。

町長 ゴミの不法投棄は犯罪。防犯カメラなどで対策を強化している。リサイクルボックスの周知はこれまで以上にしていく。

課長 ごみゼロ運動へのゲーム性の付与は良いアイデア。実践している市町村や団体を調査し、実現にむけ研究したい。

感想 提案を検討してもらえるとの答弁に満足できた。今後も自分の意見を伝えられるように発信していきたい。



質問順位 7番 街灯を増やして住宅街や通学路を明るくしては



ますおかえい か
中島永華 議員

問 日が短くなると下校時刻には道が暗くなり、事故の原因にもなる。通学路などに街灯を増やす考えは。

町長 街灯の設置には、近隣住民や農作物への影響、電気料や修理などの維持管理について考える必要がある。住民と十分話し合って設置を検討したい。

課長 PTAや住民要望を聞いて、現地を確認しながら街灯が必要か判断したい。

感想 貴重な体験ができた。街灯が少ないと感じた地域に住む友人が暗くて怖いと言っていたので、ぜひ街灯を設置してほしい。

質問順位 9番 「認定特産品」制度を周知し町特産品のより良い宣伝を



はぎわら あおい
萩原歩生 議員

問 「認定特産品」制度と認定されるメリットを、地域おこし協力隊の協力を得ながら周知しては。

町長 品質の高さの保証になる。メリットを宣伝し、今後多くの商品を認定したい。

課長 認定品には専用シールを貼り、ふるさと納税やイベント等で販売とPRをしている。認定されるメリットを説明し、地域おこし協力隊とも相談しながら検討する。

感想 「自分の言葉で町が変わるかもしれない」という責任の中で意見を主張できた。

議長



からさわはる ま
唐澤晴馬 議長

感想 議長を体験したいと思い手を挙げました。議場は独特の雰囲気があり、とても緊張しましたが、想像以上に議事がスムーズに進んで良かったです。とてもやりがいがありました。この経験を色んなところに活かしたいです。辰野町には様々な課題があると思いますが、町民のみなさんが笑顔になる町になってほしいです。最後に、みなさん選挙に行きましょう。

質問順位 8番 幅広い世代が歩きやすい道を



なかじま ゆき
中島由姫 議員

問 道の整備が不十分。事故が起これば「住み続けたい町」になるだろうか。街灯の設置等も含め、道の整備を確認しては。

町長 道路問題は重要課題。老朽化が進む道路や橋は計画的に維持管理を実施している。

課長 幹線道路や通学路などの舗装工事が優先。生活道路は緊急度の高い順に実施していく。街灯の設置は地域住民と相談しながら進めていきたい。

感想 問題を明確にして発言できた。しかし、町が何をするか具体的に聞きたかった。

質問順位 10番 移住に関する特設サイトに新たな情報を加え、アクセスしやすい工夫を



さたけあゆ み
佐竹歩実 議員

問 移住者の増加が人口減少の抑止につながる。移住情報が得やすい町ホームページにしては。

町長 都市部での移住セミナーや、町の移住体験プログラムに力を入れている。

課長 町ホームページの「くらし・手続き」の目次に「移住・定住」の項目を作成し情報を集約。移住定住応援サイト「たつの暮らし」とリンクし利用しやすくした。

感想 自分の意見が反映され、何事もまずやってみることが大事だと感じた。再質問もできて良かった。



辰野中学校 中島 健 校長

自分で見つけた課題を町に提案できたことは貴重な経験です。生徒にとって素晴らしい探求的な学びの時間になりました。



両小野中学校 富田 章 校長

生活の中から中学生の視点で問題提起ができたと思います。辰野町の未来を考えた質問への答弁が、生徒も嬉しかったと思います。



辰野町議会 津谷 彰 副議長

それぞれの視点から、日々の生活や将来のために重要なテーマが多く、未来について深く考えられた様子が伝わってきました。こうしたテーマに対して真剣に取り組んでいる姿勢は、議会や町民にとっても非常に励みとなり、今後のまちづくりへの期待が高まりました。今回の経験を活かし、地域活動やボランティア活動にも積極的に関わり、築きたい未来を形にしてほしい。

11月臨時会・12月定例会

第6回(11月)臨時会 11月6日(水) 提案された議案は、全会一致で承認・可決しました。

■辰野町一般会計補正予算(第9号)

- ・衆議院議員総選挙事務費
(報酬・手当・消耗品・通信運搬費等)
- ・辰野町灯油・ガソリン等購入券助成金
補正額 2,284万3千円増額

■辰野町一般会計補正予算(第10号)

- ・交通安全対策費(カーブミラー等修繕費)
- ・ほたるマイカードポイント3倍キャンペーン事業負担金
- ・支障木伐採委託料(辰野東小学校の支障木)
補正額 635万円増額

第7回(12月)定例会 12月2日(月)～12月18日(水) 12議案、3陳情、5発議他

令和6年度一般会計補正予算

■辰野町一般会計補正予算(第11号)

- ・令和6年11月の豪雨で被災した農業施設の災害復旧にかかる測量設計等業務委託料の追加
補正額 2,500万円増額

■辰野町一般会計補正予算(第12号)

- ・町立辰野病院補助金、町税過納の還付金
- ・緊急情報メール配信サービス構築業務委託料
- ・町道補修、道路橋梁補修工事、除雪委託料
- ・松枯損木処理委託料、自動ドア設置工事
- ・庁舎照明LED化改修工事設計業務委託料等
補正額 2億1,872万6千円増額

問 危機管理防災事業の緊急情報メール配信サービス情報業務委託料の内容は。

答 令和7年6月にサービス提供終了が予定されている町のメール配信サービス、防災メールを現行システムから新システムに移行するための初期設定、データ移行等の構築業務にかかる委託料。

問 辰野病院運営委員会は年何回開催しているか。

答 例年8月に決算と2月に予算案の年2回開催している。今年度は当院の経営状況が悪く11月28日に臨時運営委員会を開催。

- 意見**
- ①町民や利用者目線での点検や改善を。
 - ②利用者から定期的に病院の環境や接遇、医師・看護師等の対応について意見を求めること。
 - ③病院経営強化プラン実現のため、経験、知識、力量を持った専門職を配置すること。

■辰野町一般会計補正予算(第13号)

- ・人事院勧告と人事異動等による辰野町介護保険特別会計の人員費補正に伴う繰り出し金の追加
補正額 3,972万4千円増額

令和6年度特別会計補正予算

■国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

- ・保険給付費等交付金の確定による増額等
補正額 667万円増額

■町立辰野病院事業会計補正予算(第1号)

- ・経営悪化による資金不足、町からの繰入金
補正額 1億2,000万円増額
(外来入院患者数の減少、人件費の増加、診療材料費や光熱費の増加、新型コロナウイルス感染症における病床確保料の廃止等による。)



■町立辰野病院事業会計補正予算(第2号)

- ・会計年度任用職員の給与費の不足額
- ・人事院勧告と人事異動による給与補正
補正額 1,762万2千円増額

■上水道事業会計補正予算(第1号)

- ・固定資産台帳更新に伴う委託料の増額
- ・人事院勧告と人事異動による給与補正
補正額 223万8千円増額

■下水道事業会計補正予算(第2号)

- ・汚泥収集運搬処分委託料増額、総係費減額
- ・人事院勧告と人事異動による給与補正
補正額 65万円増額

■介護保険特別会計補正予算(第2号)

- ・人事院勧告と人事異動による給与補正
補正額 436万5千円増額



提案された全議案

条例審査、その他

■一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

- 令和6年人事院勧告を受け、職員の給与、手当等の改正を行うもの。

要望 一般職等が遡及適用で改善される場合には、会計年度任用職員にも遡及適用を検討していただきたい。

■辰野町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び辰野町特別職の職員で常勤のもの等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

- 人事院勧告に準じ、町議会議員と常勤の特別職（町長・副町長・教育長等）の期末手当の改正を行うもの。

■辰野町公の施設の指定管理者の指定について

- 食の健康拠点施設、滞在型農園施設、交流促進施設、世代間交流施設の指定管理を決定するもの。



請願・陳情審査

受理番号	件名及び趣旨、提出者	本会議	意見書
陳情 第18号	<p>価格による入札方式における失格基準価格の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定について陳情書</p> <ul style="list-style-type: none"> 失格基準価格を90%以上に設定すること。プロポーザル方式、設計競技方式、資質評価方式を採用することなどを地方公共団体に求める。 <p>[提出者] 長野県建築士事務所協会会長 伊藤公績、上伊那支部 宮下治</p>	趣旨採択 賛成 11 反対 1	提出 なし
	<p>(趣旨採択賛成) 古村、松澤、栗林、吉澤、牛丸、向山、樋口、高木、本田、小林、津谷 (趣旨採択反対) 林</p>		
陳情 第19号	<p>2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充について陳情書</p> <ul style="list-style-type: none"> 木造住宅の耐震化促進のため、助成制度を創設・拡充することを求める。 <p>[提出者] 長野県建築士事務所協会会長 伊藤公績、上伊那支部 宮下治</p>	趣旨採択 賛成 12 反対 0	提出 なし
	<p>(趣旨採択賛成) 古村、松澤、栗林、吉澤、牛丸、向山、樋口、高木、林、本田、小林、津谷</p>		
陳情 第20号	<p>建築士事務所賠償責任保険への加入について陳情書</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築物の設計・工事監理業務の設計者設定に際して、賠償責任保険に加入している事務所への配慮を求める。 <p>[提出者] 長野県建築士事務所協会会長 伊藤公績、上伊那支部 宮下治</p>	趣旨採択 賛成 12 反対 0	提出 なし
	<p>(趣旨採択賛成) 古村、松澤、栗林、吉澤、牛丸、向山、樋口、高木、林、本田、小林、津谷</p>		

議員提出議案の審議

議案番号	件名および提出先	審議
発議 第1号	辰野町議会委員会条例の一部を改正する条例について ・議会に係る手続のオンライン化などを内容とする地方自治法の改正に伴う改正。	可決
発議 第2号	辰野町議会会議規則の一部を改正する規則について ・議会の審議に必要な機器類の持ち込みを可能とする改正、円滑な議会DX化の推進。	可決
発議 第3号	緊急防災・減災事業債の期間延長及び一層の拡充を求める意見書の提出について ・地方公共団体が引き続き防災減災対策に積極的に取り組めるよう、緊急防災・減災事業債の継続と安定的な制度運用を図るため、制度の抜本的な見直しを強く求める。 [提出先] 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、内閣府特命担当大臣（防災）	可決
発議 第4号	脱炭素化推進事業債の事業期間延長を求める意見書の提出について ・地方公共団体が引き続き地球温暖化防止対策に積極的に取り組めるよう、脱炭素化推進事業債の事業期間延長を求めるとともに、財政的な支援を拡充することを要望する。 [提出先] 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣 GX 実行推進担当、環境大臣	可決
発議 第5号	所得税制度の見直しに関する十分な議論と地方財政への配慮を求める意見書の提出について ・国では国民の所得の向上と人手不足の解消のために「年収の壁」の見直しに向けた議論が進められている。所得税等の基礎的な控除額の引き上げに伴い税収減や地方交付税財源が縮小される可能性があり、地方財政の悪化や行政サービスの低下等が懸念されるため、国の恒久的財源による補填を求める。 [提出先] 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣	可決

※発議は全議員が賛成、発議第3号、第4号、第5号の意見書を国の関係機関に送りました。

新しくなった議場の映像・音響設備

辰野町DX化事業の一環として施工されてきた議場の映像・音響設備工事が完了し、10月31日に開催された「2024年ほたるの里中学生議会」で試験運用され、12月定例会から放送・配信を始めました。

複数のカメラで捉えた映像を、YouTubeライブ配信と町民ホールに設置されたモニターへリアルタイムで放送し、これまで3階の議場に来られなかった方も傍聴が可能になりました。※ほたるチャンネルでの放送は従来どおり。



委員会レポート

総務産業常任委員会審査報告 12月12日(木)に審査を行いました。

辰野町公の施設の指定管理者の指定について

●ふる里農村公園「グリーンビレッジ横川」

- 辰野町食の健康拠点施設「かやぶきの館」
- 辰野町滞在型農園施設「土恋処よこかわ」
- 辰野町交流促進施設「よりあい工房」

あり方討委員会からの提言を考慮した選定であり、選定委員会と審査会による評価プロセスでは、2者による書類審査やプレゼンテーションを通じて応募者の適格性や提案内容が慎重に検討され、現指定管理者を継続とした。

指定期間：令和7年4月1日から

令和12年3月31日までの5年間

指定管理者：有限会社 共和堂

指定管理料：毎年度段階的に減額

令和7年度 3,600万円

令和8年度 3,500万円

令和9年度 3,450万円

令和10年度 3,400万円

令和11年度 3,300万円

問 かやぶきの館等3施設の指定管理料の設定基準はどのようになっているか。

答 町財政負担の維持が基本。物価上昇等も加味している。専門家からは施設規模から見て3,000万円以上必要との意見があった。

問 選定プロセスでの評価方法はどのようになっているか。

答 選定委員会と審査会の合同で6段階評価を行い、総合点の60%を最低基準としている。評価項目には運営方針、収支計画、サービス向上への取り組みなどが含まれている。

問 修繕費の計画はどのようになっているか。

答 令和6年度までは年間約100万円だったが、令和7年度以降は、施設の老朽化に対応するための計画的な修繕を見込んで、年間約350万円を計画している。

問 指定管理料が低額であったB社の評価が低かった理由は。

答 仕様書で示された地域や町民との関わり、企業との協力、地域農業や食材の活用についての具体的な説明が大きく不足していたため。

問 運営状況のチェック体制はどのようになっているか。

答 四半期ごとの状況確認や定期的な運営状況の確認を行い、基本協定書に基づいて管理していく。

●辰野町世代間交流施設「世界昆虫館」

施設の特異性から非公募による選定が行われ、現指定管理者を継続とした。

指定期間：令和7年4月1日から

令和9年3月31日までの2年間

指定管理者：世界昆虫館 川島陽江

指定管理料：年間100万円

問 年間の開館日と来場者数は。

答 令和5年度実績(冬季休館)開館日96日、入館者数1,954人。



※採決の結果、全員一致で可決すべきものと決しました。

陳情審査

■陳情第18号 価格による入札方式における失格基準価格の引上げと入札方式に偏らない方式における適正価格の設定について陳情書

主な意見 品質確保という視点に立つと提出者の求める意図は理解できるが、辰野町の入札制度にそぐわないため趣旨採択とすべき。

※継続審査について採決の結果、賛成1反対5となりました。続いて、趣旨採択について採決の結果、賛成4反対2となり、趣旨採択とすべきと決しました。

■陳情第19号 2000年基準前の新耐震基準で建てられた木造住宅を加えた耐震化助成制度の創設・拡充について陳情書

主な意見 耐震化の補助を増やすということは大切なことであるが、町単独で実施できる事業ではなく、趣旨採択とすべき。

※趣旨採択について採決の結果、賛成5反対1となり、趣旨採択とすべきと決しました。

■陳情第20号 建築士事務所賠償責任保険への加入について陳情書

主な意見 消費者保護という観点では必要と考えるが、入札参加資格とするには課題が多いとして趣旨採択とすべき。

※趣旨採択について採決の結果、賛成5反対1となり、趣旨採択とすべきと決しました。

辰野高等学校 地域探求コース 3年生と意見交換

～SDGs 住み続けられるまち～ を考える講座

辰野高校の皆さんからの発案で、議員との懇談会を開催してきました。これがきっかけになり、地域の課題や町政への関心を深めてもらうため、このたびの意見交換会開催となりました。

【意見交換の6つのテーマ】

- ①あなたが帰りたくなる“ふるさと”とは
- ②あなたが考える豊富な森林資源の活用方法は
- ③災害時に私たちが出来ることって何がある
- ④高齢者や障がい者に優しい街ってどんな町
- ⑤どんな町だったら、住み続けられると思う
- ⑥あなたは、どんな居場所が欲しい

【辰野高校生の意見を議員と共有】 10月22日



●SDGsの達成できる目標を明確に設定し、グループごとにテーマを決め目標達成へのシナリオを討議し、最後に意見発表をして共有していく全ての過程を学ぶ授業でした。各グループにオブザーバーとして1名または2名の議員が配置され討議に参加し、生徒の発言や質問に対して議員なりの意見や提案をさせていただきました。



【グループごとに意見発表】 11月12日



●パワーポイントを用いてビジュアル化された授業方法や、熱のある討議に引き込まれました。生徒たちの取り組みや問題意識に、議員として新たなテーマを得る機会にもなりました。

令和6年度 福祉教育常任委員会視察研修報告 10月8日～9日

目的 小中学校のあり方と川島小学校閉校に伴う校舎の後利用について調査研究するため視察しました。

■中野市子育て支援拠点施設 HUBLIC NAKANO
 廃校となった小学校を利用した施設。施設内には、年齢に合わせた遊び場があり、フリースクールも併設している。イベントも多数開催され、昨年度は市内外から14,000組が利用。利用料は無料。市長が子育て支援に積極的で、閉校1年後には子育て応援施設にすることが決定し、3年で開設。持続可能な維持管理のための検討も必要。



■信濃町立信濃小中学校
 住民や保護者との懇談会を100回以上開催し、平成24年に6つの小学校と1つの中学校を統合した長野県下初の小中一貫校を開校。その後、9学年が同じ校舎で一貫した教育課程による教育を行う義務教育学校となった。多くの住民や保護者の意見を集約し、理想となる学校の姿を求め実現させたことは大きな成果。課題としては、学校に馴染めない子どもへの対応などがあつた。

■いづな学園グリーンヒルズ小学校・中学校
 国際バカロレア認定校

■北杜市立泉小学校
 コミュニティスクール実践校

町民と議員のタウンミーティング開催

川島区

下横川宮農総合センター
 ・開催日時 11月7日(木)19:00～
 ・参加人数 区民19人、議員14人



◇主なディスカッション内容

- ・消防団の現状と課題
- ・高齢者福祉と孤立死問題
- ・産業振興と人口減少対策
- ・川島小学校の閉校と校舎の利活用 など

区長の感想

区の現状、今抱えている切実な思いや課題・要望を伝えられて良かった。

今村区

徳水館(介護予防センター)
 ・開催日時 11月11日(月)18:00～
 ・参加人数 区民24人、議員14人



◇主なディスカッション内容

- ・人口減少と財政支援の課題
- ・農業の後継者不足と対策
- ・災害対策と防災設備、松枯れ問題
- ・インフラ整備、防犯カメラ設置と安全対策
- ・公共交通の改善、情報伝達の課題 など

区長の感想

地域課題の認識と共有ができ有意義。定期的な開催を望む。

詳細は、町 HP 内の
 辰野町議会にて掲載
 いたします。

お知らせ

【宮木区】

令和7年1月30日(木)
 15:00～
 会場：宮木公民館

【下辰野区】

令和7年2月2日(日)
 10:00～
 会場：下辰野公民館

令和6年度 総務産業常任委員会視察研修報告 10月15日～17日

■丹波篠山市「オーガニックビレッジ」
 オーガニックビレッジ宣言に基づいた有機農業推進と農業の担い手不足問題に関する取り組み事例について学ぶ。



有機農業に取り組む「篠山自然派」や認定農業者連絡協議会・JA・市で結成した協議会で実施計画を策定。スマート農業を駆使した除草や施肥の実験などを行い、有機農法の技術や考え方の普及、技術指導や就農支援に取り組んでいる。

■西粟倉村「百年の森林(もり)構想」
 林業を軸に地域再生・自立を実現した取り組みの経過と現状について研鑽し、政策研究などの活動に資する。



50年先に森林に囲まれた上質な田舎を残すことを目指し、個人所有の森林を村が預り一括管理。村で村内産材の貯木場を設置。間伐材を使用した商品開発やマーケティングを行う森の学校事業は移住者が起業・運営。

■垂井町「新庁舎建設、跡地再開発」
 コンバージョン方式のメリット、庁舎建設で苦労した点、町民の庁舎利用の変化、新庁舎の機能など視察研修。



役場庁舎を既存施設のコンバージョンにより、新庁舎の早期の整備と建設費用の低減を実現。旧庁舎跡地に中央公民館、勤労青少年ホーム、垂井地区まちづくりセンターの機能を集約した「ワイワイプラザ垂井」を建設。

牛丸 圭也 議員



町を包括した内容のPR動画の効果は

町長
地域の認知度を高め
多くの人を呼び込む

栗林 俊彦 議員



人口減少対策（少子化対策）への取り組みは

町長
住みよい環境の確保を
総合的・計画的に実施

辰野町制作による PR 動画制作の検討は

課長 Web 上にアップロードされている動画は多数あるが、包括的な内容のものは整備できていない。視覚、聴覚に訴えながら町の PR をしていくことは非常に重要。目的を整理し配置場所を考え、魅力ある内容に変えていきたい。様々な場面での活用が見込まれるので、前向きに研究していきたい。



伝えたい風景：冬の蛭養殖水路

「おのりーな」試験運用の中間報告は

問 試験運用開始後の状況は。
課長 登録者 64 名。実際の利用者は 14 名。1 便当たりの平均乗車人数は、10 月は 1.16 人、11 月は 1 人。補助金の対象となる 2 名を目標に PR していきたい。バス停にごみステーションを追加したことで利用促進が図られた。両小野診療所への移動が最も多かった。

問 登録・予約はスムーズにできているか。
課長 紙媒体での申請がほとんど。電子申請での登録は 1 件のみ。登録者の 67% が女性。

問 利用者の声はどう集めるか。
課長 小野区でのアンケート調査を予定している。利用者に対しては電話での聞き取り調査も行う方針。町中までの運行便に乗りたくないという意見も他の区から届いている。

問 利用者に対して付帯するサービスの検討は。
課長 協賛店舗を募集する予定。詳細が決まり次第周知する。

問 試験運用後の展望は。
課長 早期に本格運行へ移行できるように、地域公共交通協議会で研究を重ねる。お買い物優待サービス券などの利用促進策の展開に向け、民間事業者の力も活用しながら取り組んでいきたい。



問 まち・ひと・しごと創生総合戦略の成果は。
課長 定住促進奨励金などの移住支援制度を利用して移住した人数は、目標数 80 人に対し実績値は 107 人で、官民連携が良い影響を与えている。
問 若年層の U ターン希望者への支援・情報提供は。
課長 奨学金返還補助金による町内への定住を促進。辰野町「学生エール便」で特産品や企業情報の提供。町内企業が参加する上伊那仕事フェス等。

荒神山スポーツ公園の開発事業・地域振興は

問 たつの海（荒神山ため池）に水上太陽光発電所を設置し脱炭素化の促進を検討しては。
課長 辰野町の再生可能エネルギー発電施設の設置及び維持管理に関する条例により設置ができないエリアとなっている。近隣住民や利用者の意見を聞き、慎重に検討していく必要がある。

問 ウォーターパーク跡地の市場調査の目的は。
課長 事業に対して様々なアイデアや意見を把握する調査。検討委員会で提案された施設の使用方法についても、市場性の有無や新たな活用方法の提案など、具体的に実現可能な情報を得た。

図書館事業、読書活動推進（活字離れ対策）は

課長 セカンドブックで絵本をプレゼント。図書館祭りなどの催しや読みきかせ基礎講座、絵本講座、かたりの会の昔話の語りなどを行っている。

問 デジ図書信州の学校教育との連携・活用は。
教育長 みんなで共同学習をする。外国語の本を読み上げ機能でネイティブの発音を理解する。など学びによっては色々な使い方ができると思う。

問 辰野図書館の世代間交流施設に地域住民のコミュニティの場としてカフェスペースの併設は。
課長 現在の図書館のレイアウト上、コミュニティの場として利用する方と静かな環境を必要とする図書館の利用者の方と分けできるような部屋の配置ではないため、併設は難しいと考えている。



物価高騰対策で追加支援を



吉澤 光雄 議員

町長 国交付金が決まれば支援検討する

要望 物価高が止まらない。30年間賃金は上がり、年金は切下げられ、暮らしも営業も大変。暮らしを支える政治が求められる。独自財源も使って、ぜひ追加支援を。



昨年のぴっかり商品券

役場窓口のプライバシー保護は

問 役場の相談窓口でプライバシーが守られるよう、カウンター工夫や相談スペースの設置を。

課長 難聴者用にイヤホンを用意し、相談スペースは設けている。隣の方の顔が見えないようパーテーション設置を検討している。

有害鳥獣対策の強化を

問 国・県の補助が受けられない地区の電柵の維持管理費や、圃場を囲む電柵の材料費に対して、町が補助できないか。

課長 町が補助制度を作って補助した場合、国からの特別交付税の対象になるようなので、地域の状況などを確認し、検討する。

町3ヵ年実施計画の公表は

問 今後の主な事業計画を示す3ヵ年実施計画。上伊那6市町村は公開しているが、町は非公開で、庁内でも共有されていない。協働の町づくりのためにも公表すべきでは。

課長 3ヵ年計画には、一般会計で380事業が載っている。まずは計画を全課で共有し、将来的には町民に公表したい。

町臨時職員の勤勉手当改善を

問 町職員の半数近くを占める臨時職員。各分野で大切な役割を果たしているが、基本給が低く、手当も少ない。せめて正規の半分の勤勉手当支給月数を、正規並みに改善出来ないか。

課長 難しい面があるが、他市町村の動向を見、労組とも協議しながら検討したい。

要望 国は各自自治体に、臨時職員の勤勉手当は正規並みの月数で支給するよう求めている。ぜひ改善を。

最終処分場問題、繰り返されないために



向山 光 議員

町長 これまで以上に、近隣市町村等との連携を強固に

町長 職員に対して、取り組みの経験を未来へとつないでいけるように尽力したい。

意見 どう伝えるか、大きな課題。さらに検討を。



冬を迎える最終処分場「元」予定地

令和7年は終戦80年、平和行政の推進は

問 満蒙開拓の啓発事業など、平和行政の取り組みを有機的・効果的に展開すべきでは。

町長 満蒙開拓の啓発は学びの支援課を中心に連携して取り組む。

課長 慰霊碑紹介、戦争遺物の収集・展示、満蒙開拓記念館のパネル展示等を庁内で検討したい。

郷土をよく知るための副読本作成の進捗状況は

教育長 令和8年度に原稿執筆、製本を行いたい。

森林整備のための森ビジョン推進は

課長 来年2月頃に推進会議を立ち上げる。普及啓発のイベントを来年1月13日に開催する。

問 森ビジョンにおける具体的項目の検討は。

課長 森に関わる多くの皆さんとの共同で、進める。社会情勢の変化などにも対応し、必要に応じた見直しも行う。

意見 PDCAのサイクルを具体的に回すための具体的な目標設定が必要。事務方で進めるべきでは。

問 森林経営管理計画の進捗、人材の確保は。

課長 意向調査後の計画作成・事業実施は遅れている。林務行政の推進体制は再度研究する。

問 事業者、従事者の確保は。

課長 事業者等不足している。情報共有していく。

問 クマの出没情報がある天竜川左岸での対応は。

課長 東小学校児童にもクマ除けの鈴を配付する。

人事院勧告に伴う給与改定は12月に実施を

町長 本議会最終日に条例・補正予算を提案する。

高木 智香 議員



9月の認知症月間に
啓発のための
イベントをしては

町長

9月に限らず年間を
通して啓発していく

認知症高齢者等の見守りシール事業をする考えは

町長 すぐ導入する考えはない。導入している自治体では、徘徊する高齢者家族から、ありがたいという声はあるようだが、シールを貼ることで、周りから認知症だとわかってしまう。今後、要望があれば研究していく。



認知症サポートセンター「ロバ隊長」マスコット

ほたるネット終了に伴う高齢者緊急通報システム
検討の進捗状況は

町長 民間サービスの利用を前提に検討している。まずはニーズを把握するために、民生委員の協力を得て、アンケート調査をしている。

要望 早めに結論を出し、補助についても検討を。

無償提供されている生理用品の利用状況は

町長 人数は把握していないが、一定の利用がある。役場等の窓口で渡す予定だったが、町職員の提案で、現在は必要な人が気兼ねなく利用できるように、役場や町民会館、社協の女性用トイレに設置している。

問 生理用品の無償提供について周知する考えは。

教育長 小中学校の保健室には必要な子が利用できる生理用品がある。トイレに案内を表示する。就学援助受給世帯にも周知していく。

要望 子育て支援センターや辰野高校でも周知を。

世帯分離するための確認項目を見直す考えは

町長 世帯分離の申し出があった際は、公共料金の支払いや居住実態等を確認している。この項目について、状況に合わせて見直しをすることもありますが、実態に即した正確な届け出をお願いしたい。

障がい福祉サービス事業者向けの研修費を助成する
考えは

町長 事業所は、有資格者を多数雇う必要があり、研修費用が経営を圧迫していることが考えられる。費用負担の状況や他市町村の助成状況を調査する。また、町内の障がい福祉は十分なサービスを提供できる状況にないため、新たな事業所の誘致や、町内の介護施設に障がい福祉サービスの提供ができないか働きかけている。

津谷 彰 議員



小中学校
給食費の
経済的支援は

町長

物価高騰分を
公費負担している

小中学校の給食費無償化は

問 現在の、保護者負担額と公費負担額は。

課長 小学生が年間5万8千円、中学生が6万6千円。町全体で年間約7,590万円の保護者負担となっている。物価高騰対策支援として、令和6年度に1,314万5千円の公費負担を予算計上し、保護者負担の軽減を図っている。

問 小中学校の給食費無償化への町の方針は。

町長 財源確保が困難な状況、国等による動きを見守りながら、当面は物価高騰分を町が負担し、保護者負担を増やさずに給食の質と量を維持する。

だれもが投票しやすい環境づくりは

問 投票率が低い若年層への取り組みは。

課長 短大には、選挙時に啓発活動を実施。町内高校には、講座を実施。今年4月には辰野高校3年生に模擬投票を実施して、選挙に対する関心を高めた。進学等で選挙権が町に残ったまま一時的に離れている方に、不在者投票制度の周知を図るとともに、オンラインによる投票用紙の請求手続きを呼びかけている。

問 高齢者や障がい者への投票環境づくりは。

課長 コミュニケーションボードを全投票所に配置している。新たに、投票支援カードを次回選挙から導入を予定している。



投票支援カード

GIGA スクール端末の更新は

問 端末の更新計画は。

課長 当初令和7年度の一括更新から、令和7-8年度の2ヶ年での更新に変更。予備機を含む1,403台の更新を予定。総費用約7,716万5千円のうち、補助金約5,050万8千円を見込む。

問 使用済み端末の個人情報保護対策は。

課長 国が認定のリサイクル業者に委託し、データ消去証明書の発行を求める。リース端末は返却時にリース会社でデータ消去を実施し、完了証明書を取得。

生活習慣病や病気の早期発見は

町長

病気の早期発見は定期的な検診の受診が大切



松澤 千代子 議員

問 病気の早期発見のための人間ドックや特定検診の受診率は。お手軽検診の受診状況は。

課長 辰野町国保加入者の昨年人間ドック受診率は8%ほど。目標60%の特定検診は45%で県内60位のため広報に努めている。

事務長 辰野病院の昨年度のお手軽検診は50人ほどが受診。人間ドックは前年比200人ほどの増加傾向で評判がとても良い。

課長 後期高齢者のいきいき検診の受診率は26%程度。町では全年代に向けた検診を勧奨しているので、是非受診してほしい。

問 お手軽がん検診は可能か。

事務長 腫瘍マーカーは他の検査と併用して判断するので人間ドックのオプションを勧めるが研究はしていきたい。

問 町民や患者からの要望は。

事務長 患者さんに寄り添うことを全職員で共有する。



小・中学校あり方検討委員会の進捗状況は

教育長 急激な少子化に対応する小・中学校あり方検討委員会が昨年の12月から始まった。まずは生徒数の推移等の現状把握。その上で子どもに学びたい学校とは、を検討してきた。その結果、いずれは集約せざるを得ないということまでできている。

町教育委員会の目標は

教育長 学校を取り巻く環境や価値観が変化している。コロナで閉鎖的になった環境を、友だちと関わることでワクワクした気持ちになれる環境に改善し、明日も行きたくなる学校作りをしていきたい。先生と生徒の関わる時間を作り出すために5時間授業を目指したい。クラブ活動や修学旅行などイベントは子どもたちの発想や発案で構築していきたい。

空き家に巣くった蜂の巣の処理は

課長 個人資産のため情報提供しかできないが、相談してほしい。

消防団の再編、定数見直し協議の進捗状況は

町長

まずは団員確保に向けて若手勧誘に注力



古村 幹夫 議員

問 機能別消防団員の現状は。

課長 現時点で該当する団員は0名。各地域で機能別団員として活動可能な人材を探し、消防団から積極的に働きかけを行っている。制度そのものが周知されていないといった部分については実感もある。

問 組織に所属しない地域住民に対する指導の必要性和ケガ等の補償の在り方は。

課長 消防団と地域の自主防災組織による合同訓練を実施し、可搬ポンプの使用方法指導、ホース展張の訓練、土嚢の作り方・積み方の指導などを行っている。協力者のケガなどは、条例による消防団員等公務災害補償等共済制度が適用される。

問 災害時の情報収集や、地域の細かな状況を町に迅速に伝える情報提供者を募集しては。

課長 迅速な情報収集や、地域の実情に即した対応が可能という点で有効。他市町村の事例研究をしながら、検討していきたい。

赤十字活動資金の目標額と現在の集金状況はどのようなになっているか

課長 令和6年度の目標額は261万円で、現在約35万円が活動資金として寄せられている。従来は赤十字奉仕団による個別訪問をおこなっていたが、団員の負担減少などを目的とし、今年度は個別訪問を取りやめて、全戸配布によるチラシでの協力依頼とした。



災害に備える奉仕団の研修

問 今後考えられる影響と対策は。

課長 災害救護活動に不可欠な資金であり、今後奉仕団活動への影響や、他の地区への影響も心配される。奉仕団のあり方の検討や、活動資金の集金方法の再検討を行っていく。

生産森林組合への支援について、この1年間どのような検討がなされたか

課長 税の公平性の観点から特別な減免は難しい。現在県と連携して対策を研究中であり、また森ビジョンに基づき組織のあり方を検討していく。

樋口博美議員



辰野病院の未来のすがたは

町長

町にとって、なくてはならない病院
地域住民にやさしい安全な医療を指す

辰野病院の経営は

問 診療科の充実について町の考え方は。

事務長 全ての診療科を充実したいが、特に内科と整形外科の充実が課題。

問 常勤医の確保が大切。町はどう考えているか。

町長 現在 8 名の常勤医師。県、信大へ足を運んでお願いしている。常勤医師の居ない診療科は、諏訪日赤、伊那中央病院へ医師派遣を依頼。

事務長 人材バンク等を利用している。整形外科の常勤医師確保が喫緊の課題。

要望 学生に対して町独自の奨学金を出し、将来勤めていただくなど、将来に向けた取り組みを。

ふるさと納税の収支は

課長 令和 5 年度実績で納税額は 9,308 万。年内 41 番目。上伊那 8 市町村で 7 番目。出て行った税額は 2,360 万、費用 4,250 万、差し引き 2,790 万の黒字。

要望 商品開発は官民一体で。商品を取り扱う企業誘致を。町の積極的な戦略が必要。

有害鳥獣対策の取り組みは

問 川島区で行われている対策を町内全域で進める考えは。

課長 被害状況は把握している。町内全域での被害状況。資材提供、緩衝帯整備、わなの提供を行っている。相談していきたい。

要望 住み続ける町を目指すために、防除チームを作った対応を。



サル用大型檻
(川島区一ノ瀬)

日本赤十字奉仕団の改革は

問 現状の団員数、定員数は。

課長 定員は無い。現在団員は 245 名。

問 川島区では団員、幹部の確保に苦慮している。町は現状を把握しているか、また奉仕団の役割は。

課長 現在は男性にもお願いしている。現在 6 名。行事などの負担は少なくなっている。

役割は災害時の救護、炊き出し、AED 操作など。

要望 災害時は地域住民で協力しあう体制は各区で構築すべき。奉仕団の組織の改革を要望する。

小林テル子議員



一人暮らし世帯の孤立と緊急連絡システムの構築は

町長

民生委員が安否確認。現在の緊急連絡はほたるねっと

問 ほたるねっとは令和 7 年度で終了。その後は。

課長 情報発信と緊急連絡の方法は分けて進める。緊急連絡は民間のシステム活用を検討中。

要望 終了を待たず、速やかな検討を。

問 辰野病院訪問看護ステーションと一人暮らしの方を繋げる取り組みを。

課長 病院として周知広報を強化していく。

松枯れ対策の進行状況は

問 松くい虫被害指定市町村となった後の対策は。

課長 国の補助金を使った対策ができるがその為には実施計画を策定し地区・所有者の承諾が必要。指定を受けるには時間がかかる。

問 新町の樹種転換計画は。

課長 12 月から翌年 3 月に 1ha 範囲を伐採、森林環境譲与税を使って実施、転換樹種はこれから決定。

要望 樹種転換に協力をする方向ではあるが、周辺の松枯れも発見次第速やかな伐採を。



樹種転換の伐採作業

国道 153 号の通学時の安全確保は

問 11 月までの岡谷ジャンクション工事で国道 153 号に渋滞が発生していた。この工事が令和 11 年度まで続くことを町長は把握しているのか。

町長 承知している。国道 153 号の重要性を認識している。

問 新町区内国道の路面は傷みがひどく伊那建設事務所に区から再三要望してきた。9 月県議会で補正予算が付いたと聞いたが。

課長 轍が酷く改修するよう予算がついた。

要望 岡谷ジャンクション工事が令和 11 年度まで続く、国道 153 号の通学路としての安全性が保たれない。この機に国道歩道の改良を強く要望。

学校給食への減農薬米利用に対する取り組みは

課長 今年度、お米をめぐる状況が急変し、コメ不足になり確保できない状況。令和 7 年度作付けに向け、生産者と協議を進める。

要望 9 月議会での減農薬米に取り組むとの答弁を確実に実施を。

地域計画の重要性の私見は



林 政美 議員

町長
地域計画の重要性を認識している

地域計画の推進と推進上の課題は

問 地域計画の進捗状況と推進の意味は。
課長 今年度2度の地区懇談会を開催した。農地の活用に限らず地域づくりの礎となる。
問 当面の推進予定と課題は。
課長 来年3月までに地域計画案を提示し懇談会を行う。課題は、耕作者不足による農地の遊休荒廃化が急速に進むと懸念している。
問 農業地域と居住地域の線引きが必要では。
課長 土地利用の視点から必要性はあるが、現時点では取り組みが難しい。
問 農地の地図情報システム導入の考えは。
課長 他市町村の状況を踏まえ研究検討していく。

有機農業推進状況と今後の取り組みは

問 有機農業推進の成果と取り組みは。
課長 有機農業推進連絡協議会の設置により、アグロエコ米研究会、野菜研究会等の情報交換により、活動が促進され、有機農業を始める人の増加を実感している。
問 次年度取り組みの考え方と注力することは。
課長 全町的な取り組みとなるよう有機農業の普及啓発と情報発信活動の強化を図る。
問 持続可能な農業を目指し生産費の助成を。
課長 物価高騰対策補助金を考慮し検討したい。
問 川島区に導入した除草ロボットの状況は。
課長 8月～11月の間6耕地で27回の利用。今のところ課題はない。利用しながら改善する。
問 スマート農業推進の考えは。
課長 環境負荷低減事業促進の面から考慮する。



有機農業現地講習会

工業振興の展望は

問 町長の企業訪問の状況とその成果は。
課長 コロナ禍で休んでいたが日に2～3件訪問し課題が把握でき町政に反映している。

その他

- ・工業振興計画と将来の展望について
- ・行政らしい人づくりについて

若者の居場所へ既存施設の活用を



本田 光陽 議員

町長
様々な背景の子供に向き合い課題を整理する

若者の居場所整備は

問 若者の居場所づくりをどのように考えるか。
町長 居ることの意味を問われないこと、自分を受け入れてくれる誰かがいること、好きなことに取り組めることの、三つの視点を併せ持つことが大切であると考えている。
問 現在の取り組みと課題は。
課長 フューチャーセンターでは開館時間を一時間延長したが、利用者増には繋がらず、元の閉館時間に戻した経過がある。通勤通学の動線上の近くに施設があることも重要な要素。例として、高校生は宮木駅の利用が多いため、場所的な課題もある。
問 年代別の町外への転出者数とその要因は。
課長 20代の転出が230人と最も多く、就職や進学が主な理由になっていると考えられる。
問 既存施設の利用促進を。
課長 地域活性化センターでは子育て中の方が気軽に利用できるカフェのような空間づくりを進めており、小学生の子供の居場所としても施設の利用を促進している。世代間交流施設茶の間では、豊南短期大学の学生が町の『若者チャレンジ応援補助金』を活用し、本を介して人々が交流できる『まちライブラリー』という取り組みを行った。

町の情報発信とブランド形成は

問 町のブランド形成とその発信についての考えは。
課長 町の特色を生かしたピッカリちゃんや、ど真ん中プロジェクトは、町の知名度向上の為に発信をしてきた。辰年プロジェクトでは、缶バッジを15,300個販売し、ブランドとしても確立し、町民の記憶にも残っていくものであると考える。
問 缶バッジ作成事業の予算と人員配置は。
課長 ガチャの機械、カプセル、バッジにかかる費用を町の会計から歳出。1つあたり44円かかる為、15,300個分で約67万3千円の歳出。作業をしている職員は、業務を兼務しているため何人工になるのかは即答できない。



辰年限定缶バッジ

議員が町に出て
聞きました

町民の声



これからも
みんなの声を
聞きにいこう

辰野町イメージキャラクター
ぴっかりちゃん

テーマ 2025年に思うこと



小野 勝英さん

37年間の教員生活。子どもたちとの出会いが私の宝物です。子どもらの活躍を聞いたたびに、自分が関わってきた事が嬉しく、誇りに思う。巣立っていった子どもたちの活躍を楽しみにしている毎日で、新しい年も活躍を期待しています。

2024年は町内で引越しをしたり職場を借りたりしました。色々な人に出会ったり久しぶりの人にも会えて、知人友人に影響を受けながら初めてチャレンジすることも多い年になりました。今年は生活にメリハリをつけ、面白い年にしたいです。



奥田 ひづるさん

今年満18歳となり選挙権を得ます。議会にも積極的に興味を持ち、また町がどのように進んでいくのか考えていきたいです。農業をやっていて、栽培してみたい作物がたくさんあります。良い農産物が皆さまに届けられるよう頑張ります。



正木 翔馬さん



原 弘樹さん

辰野に引っ越してきて2年目、休みの日を使って、ちまちまではありますが家の改修をしながら過ごした年でした。作業の大変さは古民家ならではの完成した時の喜びはより一層大きいです。新人ですが狩猟も始め、猟友会の方々と関わらせてもらい、川島の自然を感じながら、暮らしを楽しむことができ、辰野に越してきて良かったなと思っています。



濱 和美さん

昨年は夏の高温により農作物は不作でした。巳年は「復活と再生」を意味します。今まで生きてきた体験や経験を活かし、新しい年の幕開けにワクワクしながら、様々なことに挑戦し、自分らしい人生を切り開いていけたらと思います。

今年の干支は、乙巳(きのとみ)で60年周期の干支の中で42番目に位置し、努力を重ね、物事を安定させていくという意味です。長年培った農業経験を活かし、有機栽培での南瓜づくりに挑戦します。新しいことへ向うことが健康長寿の秘訣です。



小野 一喜さん

次回定例会のご案内 3月定例会予定

- 開 会 3月 3日(月)
一般質問 3月10日(月)・11日(火)
委員会審査 3月12日(水)・13日(木)・14日(金)
閉 会 3月19日(水)

※確定した日程は議会ホームページ等でご確認ください。

一般質問は
役場町民ホールと
YouTubeで
リアルタイムに
傍聴できます。

編集後記

令和7年「巳年(みどし)」が始まりました。「み」なさんの笑顔が「ど」んどん溢れる「し」あわせな一年になりますように。

議会広報編集委員 高木智香

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。議会事務局までお寄せください。